

第 64 回町村議会議長全国大会 会長挨拶

本日ここに、「第 64 回町村議会議長全国大会」を開催するにあたりまして、ご来賓の皆様におかれましては、公務極めてご多忙の折にもかかわりませず、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加人数を制限しての開催となりますが、全国各地から遠路ご参集いただきました町村議会議長の皆様には深く感謝を申し上げます。

本年9月16日、菅 義偉 内閣総理大臣がご就任をされ、新しい内閣が発足されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

菅 総理におかれましては、秋田県 旧雄勝町、現在の湯沢市のご出身とお聞きしております。私ども町村関係者といたしましては、大変親しみを感じておりますとともに、地方自治を所管する総務大臣をご経験されておられますことから、真に地方の立場に立って「活力ある地方の創出」に取り組んでいただけるものと強くご期待申し上げます。

さて、本年 1 月以降、世界的に新型コロナウイルス感染症の拡大が進み、わが国においても、感染者が増加するなど、私たちはこれまでに経験したことのない未曾有の事態に直面しております。

4月には、全都道府県に緊急事態宣言が発令され、各地域において、感染のリスクを回避するため、外出自粛が要請され、多くのイベント、行事が中止となるなど、私たちの日常生活は大きく変容しました。

現在、再び感染者数が増加しており、最大限の警戒が必要な状況となっております。

一方で、イベントの自粛による消費の落ち込み等により、地域の経済は大変深刻な状況にあります。

このような状況下において、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためには、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実が必要不可欠です。一般財源総額の確実な確保・充実を強く求めるものであります。

我々町村も、各地域において、社会経済活動と感染拡大防止策とのバランスを取りながら、一日も早く平穏な日常を取り戻せるよう、全力で取り組んで参る所存でありま

すので、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、九州地方を中心とした「令和2年 7 月豪雨」、「台風災害」と記録的な大雨、暴風と相次ぎ発生し、各地で甚大な被害が生じました。尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

我が国は、その地理的条件、自然的条件から、災害が発生しやすい国土となっております。これまでも台風、地震や津波、河川の氾濫などが幾度となく発生し、人命や財産を奪い、社会に大きな被害をもたらしてきました。

近年は、特に、台風災害や豪雨災害が頻発化、激甚化しており、大規模災害はいつどこで起こってもおかしくない状況にあります。国民の生命・財産を守り、災害に強い強靱な国づくりを進めるためにも、防災・減災対策の一層の強化が求められます。

また、東日本大震災、熊本地震等の被災地は、いまだ復旧・復興の途上にあります。今後とも被災地に寄り添った支援体制をお願い申し上げます。

町村は、農地や山林の防災、減災機能を通じて、都市部の被災を低下させ、災害リスクに備えた居住地や避難先としての役割を担っています。美味しい食料、綺麗な水、澄んだ空気などの生産・供給にとどまらず、多様な生態系を備えた美しい自然と景観を守り、自然と折り合って自然とともに暮らす文化を守ってきました。

このような折、来年 3 月末に「過疎地域自立促進特別措置法」が期限切れを迎えることとなります。

これまで 50 年にわたる過疎対策事業により、過疎地域は、生活環境の整備や地域医療の確保等に一定の成果を上げてきました。しかしながら、未だ道路や下水道等の公共施設の整備水準については都市との格差が残っているほか、人口減少や高齢化の進行により、公共交通手段の確保や医療・福祉分野の担い手の確保、集落の維持などが課題となっています。

折しも今般の新型コロナウイルス感染拡大により、人口が高密度な都市のリスクが浮き彫りとなった一方で、過疎地域の人口密度が低いことが新たな価値として見直されることとなりました。

強靱な国づくりを進めるためにも、空間のゆとりと可能性を持つ地域が存在することが肝要でありますので、新たな法制度により引き続き過疎対策を講じていただきますようお願い申し上げます。

私たち町村議会は、住民の多様な意見を聞きながら、これまで以上に行政監視と政策立案機能を発揮し、議会の使命を全力で果たして参ります。

それぞれの地域が自主・自立の精神をもって、不断の議会改革に努め、住民から信頼される議会を構築していく所存であります。

昨今、深刻化している議員のなり手不足問題に対しましても、「地方議会議員の位置づけの明確化」、「議員報酬の適正化」、「地方議会議員の厚生年金制度への加入」など、議員を志す誰もが議会に参画することができるよう環境整備に取り組んで参りたいと存じますので、ご臨席を賜りましたご来賓の先生方におかれましては、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本大会が所期の目的を達成できますよう、ご参集の皆様にご協力をお願い申し上げ、開会のご挨拶といたします。

令和2年11月25日

全国町村議会議長会
会長 松尾文則